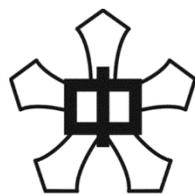


令和6年度 生徒努力目標



大庄中だより

令和6年 5月 10日
尼崎市立大庄中学校
校長 徳山 壮一 No.2

修学旅行 in 長崎・佐賀・福岡

『 楽学両道 ～楽しむ＝学ぶ～ 』



この素晴らしいスローガンのもと九州へ。民泊体験・平和学習（平和セシモニー 原爆資料館見学 被爆遺構巡り）・長崎市内班別自主研修・太宰府天満宮参拝散策……。修学旅行を通して、多くのことを学び、学級・学年の仲間、そして、先生方との絆を深めることができました。3年生の皆さん一人一人の努力と全員の心を一つに協力することで、思い出に残る最高の修学旅行にすることができました。3年生の皆さんは、自分では気がついていないかもしれませんが、素晴らしい力を持っています。自分の可能性を信じて、学級・学年の仲間や先生方とともに顔晴っていきましょう。

やれば できる

令和6年度 生徒努力目標

**時を守り
場を清め
礼を正す**

尼崎市立大庄中学校



生徒の皆さんが素晴らしい生徒に成長するためには、そして、素晴らしい大庄中学校を作り上げていくためには、この言葉を実践することが大切だと思います。令和6年度の生徒努力目標としました。この目標の達成を目指して顔晴っていきましょう。

やれば できる

「**時を守り**」とは、時間・約束を守ることです。時間・約束を守ることは、相手を大切にすることにつながります。また自分自身の信用を積み重ねていくことにもつながります。皆さんに今すぐ顔晴って欲しいことは、全ての予定の開始3分前に姿勢を正し、心を静め、開始を待つことです。

「**場を清め**」とは、掃除をすることです。掃除をすることで自分自身の心を磨くことができます。自分の心を磨けば磨くほど「謙虚な人」「周囲に気づく人」「感動の心を持つ人」「感謝の気持ちを持つ人」に成長することができます。皆さんに今すぐ顔晴って欲しいことは、落ちていたゴミを一つでも拾うことです。一つ拾えば一つ心がきれいになります。

「**礼を正す**」とは、あいさつ・返事をするということです。短い言葉ですが、あいさつ・返事は、人間関係を良くする魔法の言葉です。皆さんに今すぐ顔晴って欲しいことは、相手の目を見て、明るく元気な声であいさつ・返事をするということです。

5月7日 朝礼 校長講話

今月の言葉

あいさつは魔法の言葉

～あいさつのとびかう学校に～



「あいさつ」は、とても短い言葉ですが、周りの人を笑顔にさせたり、元気にさせたり、周りの人の心を一瞬で幸せにできる魔法の言葉です。そして、「あいさつ」は、心と心の潤滑油であり、人と人を結びつけたり、人間関係をよくしたりする不思議な力も持っています。校長先生は毎日、生徒の皆さんとあいさつをしています。毎日、生徒の皆さんから笑顔とたくさんの元気をいただいています。校長先生も皆さんに笑顔と元気を届けたいと思っています。校長先生も皆さんに笑顔と元気を届けることができたらいいなという気持ちであいさつをしています。4月のころに比べると大庄中学校のあいさつレベルは、少しずつアップしています。大きな声であいさつしたり、声に出してあいさつすることが、少し恥ずかしいと感じている生徒もいると思いますが、最初は、目を合わせてペコっとお辞儀をするだけでも大丈夫です。それで気持ちは伝わります。まず、自分のできるところから始めていきましょう。生徒の皆さんが、周りの人が笑顔になる、そして、元気が出る「あいさつ」のできる生徒に成長することを願っています。生徒の皆さんの「あいさつ」で明るく、元気で、笑顔いっぱいの大庄中学校を作っていきましょう。

5月7日 朝礼 校長講話

平和宣言 平和セシモニー



総合の授業で、1945年8月6日 長崎に落とされた原爆により被災した方々の紙芝居を見たり、戦争で被害にあわれた方々のことを思いながら千羽鶴を折るなどの平和学習を行いました。今日は、実際に貴重な資料がある原爆資料館を見学したり、ガイドさんのお話を聞きながら被爆遺構巡りをすることができます。今の私たちにできることは、長崎で起きた事実を知り、命の大切さやあたりまえの生活ができていくのが幸せであることを知ることだと思います。そして、二度と悲惨な戦争が日本では起こらないよう、長崎で学べることに感謝し、私たちが感じたことを伝え、平和を願い活動していきます。 修学旅行実行委員 木下 陽夏

